

大学対抗選手権大会の開催地検討対象の公募について

2011年6月

2011年度以降の全日本大学対抗選手権大会（インカレ）の開催地を公募いたします。

大学生にとって大きな目標のひとつである全日本大学対抗選手権大会は、トラック・ロード両種目が開催可能な都道府県連盟と協力して運営されてきています。より安定的かつ長期的展望を以て早期に開催地が選定されるよう、また開催地選定の基準が明確になるよう、広く開催地を公募いたします。また、実施にあたっては開催地との協議事項も多いことから、「開催地検討対象」の公募とし、応募地との協議を通じて開催地を決定することと致します。

記

- 応募資格者： 開催地都道府県自転車競技連盟または地方行政庁
- 応募要件： 原則として以下の条件を満たすこと。
- 開催日： 8月最終週もしくは9月第1週 日曜日を最終日とする4日間で、前半3日間にてトラックレース、最終日にロードレースが実施できること。
- 競技場 トラック：原則として周長400m以下の公認自転車競技場
競輪場、500Mトラックの場合、ロードコース・開催エリア等との総合的判断による。
ロード：公道を主体とする周回コースでJCF基準に準拠したもの。
(原則として、適度な高低差のある周長10KM以上の周回コース)
トラック、ロード会場間の移動時間が概ね2時間以内
- 準備業務負担：トラック使用許可、ロードコース道路使用許可、その他必要な許認可を開催地行政または都道府県連盟にて取得
競技に直接関わる分野を本連盟にて準備
- 競技役員：10～20名の競技役員を開催地都道府県連盟より派遣。
(上記人数には交通規制にかかる立哨員、トラック競技における補助員を含まない)
- 費用負担：ロードコース道路使用関連費用(交通規制要員・看板設置費用等)：
開催地行政または都道府県連盟にて負担。
- トラック競技場借用料：
競技運営に直接関わる費用を本連盟が負担。
- 宿泊施設：チーム、競技役員が宿泊可能な十分な数が確保されること。(約400名)
- 駐車場：競技運営、観戦に必要な駐車台数が確保されること。
- 雨天対応施設：式典・監督会議・競技運営・選手控え等、雨天対応施設のあること。
- 応募方法： 応募フォーマットに記入して郵送ならびにE-MAILにて応募する。
- 応募期限： 毎年大学対抗開催1ヶ月前まで
- 選考方法 大学対抗開催時に翌年、翌々年の立候補地を発表する。
応募状況に応じて適宜視察を行う。
毎年12月末までに翌年開催地決定・発表を原則とする。

以上

大学対抗選手権大会の開催地検討対象への応募用紙

20 年 月 日記入

20 年度全日本大学対抗選手権大会開催地の検討対象に応募します。

申請者： 名 称
代表者
住 所 〒
電 話・ファクシミリ・電子メール

開催日： 20 年 月 日から 月 日まで

競技場トラック： 名 称
所 在
周 長 m
公認日 年 月 日

ロード： 所在
周長
道路幅員 スタート地点 m
フィニッシュ地点 m
最大 m
最小 m
平均 m
登坂高さ（1周あたり累積）
最大勾配

トラック、ロード会場間の移動 km 時間 分

地元より派遣可能な競技役員数 名

宿泊施設の状況

駐車場等付帯施設の状況

添付書類： トラック競技場見取図
ロードコース平面図、断面図、スタート&フィニッシュ地点詳細図
以上2点は必須、その他は申請者の判断による

問い合わせ連絡先

氏 名
住 所 〒
電 話 ファクシミリ
電子メール